

男子部 習字

「2012 年度の習字」

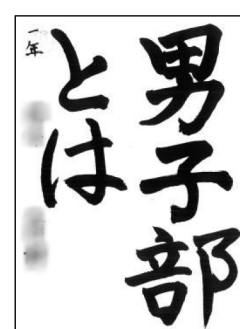
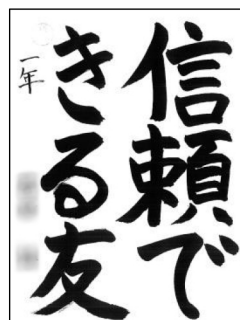
山縣 基

2012 年度は、合計で 28 回の習字の提出があり、「地」の評価を受けた習字が 1 枚ありました。提出された習字は、学年毎に担任の教師が見た後、高橋と山縣が交代ですべての習字を見て解説をしました。

今回は、「地」の評価を受けた習字と年度末の 2 回の習字で「人」の評価を受けた習字の一部を掲載します。高等科 3 年生は男子部での生活を終えるに当たっての思い、他学年では次年度に向けての思いを書いた生徒が多くいました。

「人」の習字（2013 年 3 月 2 日・21 日の一部）

中等科 1 年



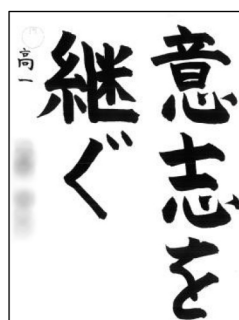
中等科 2 年



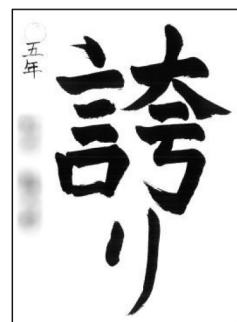
中等科 3 年



高等科 1 年



高等科 2 年



高等科3年

男子部
最高
六年

対話の
大切さ
六年

団体と
個人
高三

翔べ
六年

男気
六年

心友
六年

区切り
六年

誰かの
為に
第六期家長

誇り
六年

大きく
前出る
六年

思う
六年

伝統
六年



「地」の習字 (2013 年 2 月 13 日)

